

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	職員課担当課長	能條 裕子
総務-09 人事管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	職員課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	

1 事業の目的

対象	市職員
意図	多様で有為な人材の確保と適材適所の職員配置に努めるため。
効果	職員一人ひとりの士気の高揚、さらには組織能力の向上を図ることにより、質の高い市民サービスを提供できる組織体制が実現する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

職員の能力開発、適正配置等につなげるための効率的な人事情報管理を行った。 公正で透明な行政運営の実現及び職務の適正な執行を確保するための対策を行った。 欠員の補充及び職員の適性な配置等を行うため、採用試験を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	1,362人		1,342人		1,356人			
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	26,051	35,535		当初予算(千円)	27,475		H27年度の人員配置数5.5人のうち1人は県派遣職員分。
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	39	54		その他	85		
	一般財源	26,012	35,481		一般財源	27,390		
	人員配置数	4.5	5.5		人員配置数	4.5		
事業経費運営	人件費(千円)	34,348	44,067		人件費(千円)	36,027		
	総事業費(千円)	60,399	79,602		総事業費(千円)	63,502		
	市民1人当りの経費(円)	340	449		市民1人当りの経費(円)	359		
	対象者1人当りの経費(円)	44,346	59,316		対象者1人当りの経費(円)	46,830		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	多様で有為な人材の確保と適材適所の職員配置は、組織運営の根幹であり、今後も事業の継続は必要である。そのための予算を計上しているものであり、予算規模についても現状維持とした。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後とも人材の確保と適材適所の職員配置を図り、質の高い市民サービスが提供できる組織体制の実現に取組んでいく。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	新たな人事・給与制度で提示した項目のうち人事に関するものが未解決となっているため、継続した検討及び職員労働組合等との協議が必要である。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	新たな人事・給与制度で提示した人事に関する未解決の項目については、職員労働組合等への提示は行ったものの、協議の実現には至っていない。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	地方公務員法の一部改正法の施行に伴う、人事評価制度における実績評価の対象拡大等見直しを行うとともに、新たな人事・給与制度で提示した人事に関する未解決も合わせ、職員労働組合等への提案及び協議が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	必要な職員数の確保						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
必要な職員数の確保は重要であるため。	目標値	100	100	100	100	100	100				
	実績値	80.4	93.06								
	達成率	80.4%	93.1%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	組織運営の基本にあるのは人材であり、適正な職員数を確保していくことが常に必要である。引き続き本事業を実施し、円滑な行政運営に寄与する。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---